



りよく 緑 旗

佐賀農大だより 第16号
平成27年(2015年)3月号

発行：佐賀県農業大学校
後援会・螢雪会

今号の主なトピックス

- ・農大名物「収穫祭」今年は..
- ・「エアポートウォーク」ってナニ?
- ・ニュージーランド研修フォト滞在記
- ・社会人のための就農研修

発行：佐賀県農業大学校 後援会・螢雪会

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

Tel 0952-45-2144 Fax 0952-34-7004

Email: nougyoudaigaku@pref.saga.lg.jp

さがのうだい

検索



佐賀県農業大学校
校長 森田 昭

卒業生の皆さんへ ~目標の実現に向け^は翔ばだけ!!~

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

佐賀県農業大学校での2年間の学園生活を満喫できましたか?

入学時に描いていた目標地点まで到達できたでしょうか?

農大での学園生活は、長い人生から考えると、ほんの一コマに過ぎないかもしれませんが、皆さんは幅広い分野で多くのことを体験・習得されました。

また、螢雪寮で寝食をともにし熱く語り合った仲間、講義や実習でお世話になった先生方、農家派遣研修先のお父さん・お母さんなど、多くの方との絆ができたはずで、この絆は、農業大

学校に来なければ得られなかった大事な財産であり、これからの人生において、なお一層太く、豊かなものにしていってください。

今日、社会情勢が速いスピードで変化している中、皆さんは、自営就農や農業法人での雇用就農、農業関連企業での就職など、それぞれの道を歩まれますが、さまざまな課題・困難に直面すると思います。

その時は、校訓の一つである「自律」を思い浮かべ、自分なりの物差しで物事を判断するとともに、自主性と勇気を持って行動しながら克服し、次の目標に向かって^は翔ばたいてください。ご健闘をお祈りします。

12月 収穫祭



学生と後援会による
地元園児を招いての
餅つき大会。甘〜い
あんこと黄色い声を
一緒に丸めました。



今年も土曜日に開催し、多くの来場者でにぎわいました。農産物直売やB級グルメ屋台横丁でほっこり温まっていただきました。



9月
九州地区農大
スポーツ大会



5月の近県スポーツ大会
ほどの成績は、残せなかつ
たけど、がむしゃらにプレ
ーした後の、大分の宿での
夕食は格別でした。



10~11月
農家派遣研修
(一年生)



受入農家の御家族の皆さん お世話になりました。今後ともよろしくお願いします。

発表大会

9月
意見発表(1年生)

12月
卒論発表(2年生)



10月
トラクター研修
(1年生)



1年生は、トラクター単体の研修です。安全を第一に
周囲に注意を払います。2年生になれば、いよいよ難
関のけん引車を連結しての研修です。

1月
新成人の集い



山崎自治会長による気合の入った成人の「誓い」
その後は、ちょっぴり緊張気味のテーブルマナー教室
箸で食べた方が美味しかったりして...



7班に分かれて3日間のファームステイ。異国で人の温かさに触れ、別れ際はウルルン状態。



2月
海外派遣研修
ニュージーランド



大規模経営の象徴 320馬力の超大型
トラクターを前に農機オタクが大興奮!



英国人とマオリ族との戦争の記録などを収めたロトルア博物館を背にパシャリ



「ホビットの冒険」の舞台となった映画そのままの風景に感動!



ワイトモ洞窟の前で集合写真。
土ホタルの幻想的な光に全員感動しまくり!



マオリ族のダンスショーに学生も飛び入り参加! 周囲の外国人も拍手喝采! ブラボー!



オークランド市内レストランにてフィッシュ&チップスを美味しく頂きました。

12月 寮祭 エアポートウォーク



今年の寮祭は、東与賀干潟公園、有明佐賀空港を經由して農大に帰着くまでの30kmコース。平坦で変わらない風景が疲れを倍増してくれました。



歩き終わった後のぺこぺこお腹に焼肉が吸い込まれていく...

2月 6次産業化 支援研修 全体研修会



27日 6次化支援研修（基礎・実践・応用研修）に参加された受講生の皆さん

3月 螢雪会 佐賀支部 全体研修会



7日、佐賀市内において、支部会員30数名の参加のもとにJAさが 金原代表理事組合長を招いて講演会及び交流会を開催しました。

社会人の ための就農研修



12月 農業者研修館が完成
農業機械研修、新規就農支援研修などに利用



2月 新規就農「基礎講座」
（農業者研修館での講義風景）



7月開設 新規就農「実践講座」(施設野菜コース)
の実習風景（トマトの出荷調整作業）



「実践講座」(果樹コース)
ぶどうの剪定、誘引作業

「基礎講座」での先進農家研修
（アスパラガス栽培の話聞く）

<編集後記>

平成26年度も残り少なくなり、新年度が見えてきました。卒業生が期待に胸ふくらませ社会へと巣立てば、ピカピカの新入生が入学してきます。人は、「別れ」と「出会い」に心動かされますが、その舞台となる農大キャンパスは、繰り返されるシーンをただ静かに眺めているようです。（さ）